

課題名：天候対応型炭酸ガス施用による施設栽培ナス多収技術の確立（令和～5）

内容：ナスは本県の野菜で生産額が最も多い品目で、このうち約半分を施設ナスが占めています。そこで、生産性向上のために産地にも導入が進みつつある炭酸ガスの施用効果をさらに高めるため、天候に対応した炭酸ガス施用技術の確立により、生産者の所得向上を図ります。



図1 炭酸ガス発生機

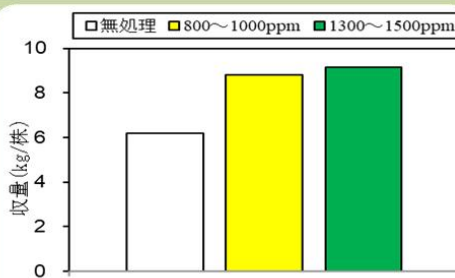


図2 炭酸ガス濃度と正常果収量の関係
(曇天日も同じ設定濃度で施用)

[野菜・花研究室HPへ](#)
[農業研究所HPへ](#)